

平成**21**年度

バリアフリー・ユニバーサルデザイン  
推進功労者表彰

受 賞 事 例 集

Barrier Free

Universal Design



内閣府  
Cabinet Office

# 平成 21 年度 バリアフリー・ユニバーサルデザイン 推進功労者表彰に寄せて



内閣府特命担当大臣

福島みずほ

この度、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を受賞された皆様に対し、心よりお慶びを申し上げますとともに、皆様のこれまでの御活動に対し、深く敬意を表します。

今年度の内閣総理大臣表彰は、聴覚障害者の生活を支える腕時計型受信器「シルウォッチ」の開発が選ばれました。この受信機には、開発者御自身の体験も踏まえた優れたアイデアが結実しています。一見、小さな腕時計の中に、大変大きな熱意と努力が詰まっている、素晴らしい製品です。

また、内閣府特命担当大臣表彰優良賞の5件、そして奨励賞の4件につきましても、それぞれ、全国各地で参考にしていただきたい優れた活動が選ばれています。

今回受賞された10件には、ハード・ソフト両面の向上もさることながら、障害者、高齢者、あるいは子供など、社会的には弱者と言われる方々に対する、温かく優しい心とともに、そうした方々の弱いところや困難なところを、何とか支えてあげたいという、人一倍の情熱が感じられました。

私は、障害の有無にかかわらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」—ハード・ソフト両面のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの推進はもとより、「心のバリアフリー」が実現される社会—を目指しています。

そのためにも、この事例集が、国民の皆様の理解と関心を深める一助となり、「共生社会」の実現に向け、心温まる活動の輪がますます広がっていくことを願っています。

平成 22 年 3 月

本推進功労者表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含む全ての人が安全で快適な社会生活を送ることに配慮したハード・ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的として、平成14年度から実施され、本年で8年目となりました。候補者の推薦は、今年度も都道府県、政令指定市、関係省庁にお願いし、55件の多種多様な事例の推薦がありました。

審査は、選考委員全員がすべての推薦書類に対して「内容」「波及効果」「将来性」「利用者の視点」「自発性」「具体性」「継続性」に焦点をあて、第1次審査を行いました。とはいっても、応募事例は「施設整備」「製品開発」「活動」の3つもジャンルがあり、それぞれポイントの重要さが異なってまいります。そこで、施設整備に関係する事例においては、法制度に定める整備基準以上の施設内容の評価、整備するプロセスにおける当事者参加やデザインの洗練性、組織全体としての取組姿勢、施設整備に付随するソフト面の取組状況等、施設整備水準はもとより総合的な視点で審査を行いました。製品開発に関係する事例においては、近年、全ての人にとって、できるかぎり使いやすく工夫されたユニバーサルデザイン製品の開発・販売がされるようになってきた状況を踏まえ、開発プロセスにおける当事者参加や組織全体としての取組姿勢、ユーザーの評価、デザイン性や安全性、波及効果などの視点から評価しました。活動等に関係する事例においては、活動内容の広がりや独創性、先進性、また、継続性や当事者等からの評価、波及効果などの評価を行いました。

今回も昨年と同様に、推薦事例が企業や自治体さらに熱心な取組を行うNPO法人までと広汎にまたがり、例年以上に審査が困難なものとなりましたが、それぞれの評価を総合的に判断することによって、できる限り審査の公平性を保つよう努力しました。このような審査の元に、優れた応募事例を14件選びました。

次に、これらの事例に対して委員が分担して現地調査を実施すると共に、書面には記されていない情報収集等を行い、これをもとに個々の事例について委員会において再度、議論をいたしました。

このように十分に議論を重ねた後に、委員間で投票を行い、内閣総理大臣表彰1件、内閣府特命担当大臣表彰優良賞5件、内閣府特命担当大臣表彰奨励賞4件を選考いたしました。

受賞事例には、それぞれ、素晴らしい特色がありますが、残念ながら選にもれた事例についてもバリアフリー・ユニバーサルデザイン面で社会に果たした功績が小さいとするものでは決してありません。

最後に、今回の表彰において御協力をいただいたすべての皆様に、心より御礼申し上げるとともに、これを機会に、できるだけ多くの方々が「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」ということに関心をお持ちいただき、社会全体のバリアフリー・ユニバーサルデザインが一層推進されることを願い、全体講評とさせていただきます。



バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会

委員長 野村 勲

# 目次

## 内閣総理大臣 表彰 (1件)

株式会社 東京信友	4
-----------	---

## 内閣府特命担当大臣表彰 優良賞 (5件)

愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	5
カシオペア連邦はーとふる発見隊	6
株式会社 タカラトミー	7
財団法人 安全交通試験研究センター	8
財団法人 明治安田こころの健康財団	9

## 内閣府特命担当大臣表彰 奨励賞 (4件)

尼崎市交通局	10
特定非営利活動法人 子育てネットくすくす	10
特定非営利活動法人 多文化共生センターきょうと	11
特定非営利活動法人 ユニバーサルデザイン・結	11
バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 要領	12
バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 選考委員会委員名簿	13
バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 選考経過	13
バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 過去の受賞事例	14
バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進施策に関する最近の動き	16
担当部署一覧	17